



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 松本油脂製薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4365 URL <https://www.mtmtys.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 木村 直樹
問合せ先責任者（役職名） 管理本部副本部長（氏名） 平野 憲弘 TEL 072-991-1001
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	22,288	5.3	5,090	12.5	4,484	△24.7	3,195	△23.9
2024年3月期中間期	21,160	2.6	4,523	5.1	5,958	△4.7	4,196	△4.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 3,280百万円(△42.0%) 2024年3月期中間期 5,658百万円(28.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	1,101.33	—
2024年3月期中間期	1,446.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	91,143	77,450	82.6
2024年3月期	89,512	75,337	82.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 75,288百万円 2024年3月期 73,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	400.00	400.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	400.00	400.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,300	△0.5	8,500	△3.0	8,000	△25.5	5,500	△26.7	1,895.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	4,512,651株	2024年3月期	4,512,651株
2025年3月期中間期	1,611,313株	2024年3月期	1,611,228株
2025年3月期中間期	2,901,380株	2024年3月期中間期	2,901,641株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり緩やかな回復基調にある一方で、急激な為替の変動、海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループとしましては、世界的な経済環境の不安定さと変動リスクの長期化を踏まえ、引き続き高品質で価格競争力のある製品の開発を行うとともに、新規顧客・用途開拓活動の推進により収益の維持・向上を進めているところであります。

以上の結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高22,288百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益5,090百万円(前年同期比12.5%増)、経常利益4,484百万円(前年同期比24.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益3,195百万円(前年同期比23.9%減)となりました。

① 日本

日本における当中間連結会計期間の外部顧客に対する売上高は20,951百万円(前年同期比5.6%増)、セグメント利益(営業利益)は4,948百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調で、国内繊維分野も当期は回復し前年を上回ることが出来ました。この結果、外部顧客に対する売上高は1,940百万円(前年同期比10.0%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でした。また、国内繊維分野も底を打ち改善が見られ、国内非繊維分野はトイレタリー向けが好調に推移しました。この結果、外部顧客に対する売上高は12,608百万円(前年同期比2.6%増)となりました。

陽・両性イオン界面活性剤の分野につきましては、国内でのシャンプー・家庭用洗剤向けは好調に推移しましたが海外向けは低調となり、外部顧客に対する売上高は395百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、海外向けは総じて堅調でした。また、国内繊維分野では産地・用途により差があるものの全体として販売は改善し、非繊維工業関連では自動車部品・樹脂成形分野が好調に推移し前年同期を上回る販売となりました。この結果、外部顧客に対する売上高は6,006百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

② アジア

アジアにおける当中間連結会計期間の外部顧客に対する売上高は1,337百万円(前年同期比1.7%増)、セグメント利益(営業利益)は157百万円(前年同四半期比14.1%増)となりました。

陰イオン界面活性剤の分野においては、繊維市況の低迷により加工剤の販売はほぼ横ばいとなり、外部顧客に対する売上高は3百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

非イオン界面活性剤の分野につきましては、顧客の長期休暇等の影響があったものの中東へのトープ生地向けの受注が堅調であり、合わせて比較的販売単価の高い繊維油剤の受注が安定したため、外部顧客に対する売上高は278百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

陽・両イオン界面活性剤の分野につきましては、繊維市況の低迷により柔軟剤関係が低調であったため、外部顧客に対する売上高は3百万円(前年同期比46.9%減)となりました。

高分子・無機製品等の分野につきましては、各国内では織物生産、販売は安価輸入品の影響で依然低迷しているもののその対策として新規顧客への拡販を進め、外部顧客に対する売上高は1,051百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(以下「前期末」という。)比1,630百万円(1.8%)増加して、91,143百万円となりました。流動資産は前期末比3,843百万円(5.8%)減少の62,595百万円、固定資産は前期末比5,473百万円(23.7%)増加の28,548百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、有価証券が1,987百万円前期末より増加した一方、その他が4,703百万円、現金及び預金が2,264百万円減少したことによるものであります。

固定資産増加の主な要因は、建設仮勘定が189百万円減少した一方、投資有価証券が5,577百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債の合計は、前期末比481百万円(3.4%)減少の13,693百万円となりました。流動負債は、前期末比437百万円(3.8%)減少の11,060百万円、固定負債は前期末比44百万円(1.7%)減少の2,632百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、買掛金が1,076百万円前期末より増加した一方、その他が792百万円、未払法人税等が510百万円前期末より減少したことによるものであります。

固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債が22百万円、その他が14百万円前期末より減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前期末比2,112百万円(2.8%)増加して77,450百万円となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金が配当金の支払により1,160百万円減少の一方、当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益の計上により3,195百万円増加したことによるものであります。

この結果自己資本比率は、前期末の82.0%から82.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末に比べて、7,013百万円減少(前年同期は13,326百万円の減少)し、28,535百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは3,330百万円の現金及び現金同等物の増加(前年同期は2,026百万円の増加)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前中間純利益4,531百万円、仕入債務の増加額1,056百万円、為替差損益709百万円、減価償却費522百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,687百万円、売上債権の増加1,009百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは8,690百万円の現金及び現金同等物の減少(前年同期は15,373百万円の減少)となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入510百万円、投資有価証券の償還による収入157百万円であり、支出の主な内訳は、投資有価証券の取得による支出6,034百万円、有価証券の取得による支出1,988百万円、有形固定資産の取得による支出907百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,141百万円の現金及び現金同等物の減少(前年同期は1,001百万円の減少)となりました。

支出の主な内訳は、配当金の支払額1,132百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、現時点において2024年8月9日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,993	27,729
受取手形及び売掛金	9,434	10,420
電子記録債権	326	389
有価証券	15,001	16,989
商品及び製品	3,012	2,984
仕掛品	816	924
原材料及び貯蔵品	1,549	1,555
その他	6,324	1,621
貸倒引当金	△22	△18
流動資産合計	66,438	62,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,168	9,389
減価償却累計額	△6,465	△6,591
建物及び構築物(純額)	2,702	2,797
機械装置及び運搬具	16,392	16,803
減価償却累計額	△13,282	△13,712
機械装置及び運搬具(純額)	3,109	3,091
土地	1,642	1,647
建設仮勘定	224	35
その他	1,552	1,570
減価償却累計額	△1,378	△1,397
その他(純額)	174	172
有形固定資産合計	7,852	7,745
無形固定資産		
その他	16	13
無形固定資産合計	16	13
投資その他の資産		
投資有価証券	14,233	19,811
繰延税金資産	9	9
その他	966	972
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	15,205	20,789
固定資産合計	23,074	28,548
資産合計	89,512	91,143

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,198	8,275
未払法人税等	1,748	1,238
賞与引当金	329	118
その他	2,220	1,427
流動負債合計	11,497	11,060
固定負債		
退職給付に係る負債	1,023	1,015
資産除去債務	119	120
繰延税金負債	1,437	1,415
その他	96	82
固定負債合計	2,677	2,632
負債合計	14,175	13,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,090	6,090
資本剰余金	6,518	6,518
利益剰余金	68,653	70,688
自己株式	△12,130	△12,132
株主資本合計	69,131	71,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,301	4,054
為替換算調整勘定	△82	63
退職給付に係る調整累計額	7	5
その他の包括利益累計額合計	4,227	4,123
非支配株主持分	1,979	2,161
純資産合計	75,337	77,450
負債純資産合計	89,512	91,143

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,160	22,288
売上原価	14,546	14,934
売上総利益	6,614	7,353
販売費及び一般管理費	2,090	2,262
営業利益	4,523	5,090
営業外収益		
受取利息	8	22
受取配当金	118	166
持分法による投資利益	78	77
為替差益	1,043	-
その他	205	90
営業外収益合計	1,454	355
営業外費用		
支払利息	1	0
支払手数料	2	3
デリバティブ評価損	11	-
為替差損	-	926
その他	3	31
営業外費用合計	19	961
経常利益	5,958	4,484
特別利益		
固定資産売却益	-	79
特別利益合計	-	79
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	-	32
特別損失合計	1	33
税金等調整前中間純利益	5,956	4,531
法人税、住民税及び事業税	1,643	1,187
法人税等調整額	65	86
法人税等合計	1,708	1,274
中間純利益	4,247	3,256
非支配株主に帰属する中間純利益	50	61
親会社株主に帰属する中間純利益	4,196	3,195

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	4,247	3,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,118	△247
為替換算調整勘定	290	273
退職給付に係る調整額	1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	1,410	23
中間包括利益	5,658	3,280
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,477	3,091
非支配株主に係る中間包括利益	181	188

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	5,956	4,531
減価償却費	473	522
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△5
受取利息及び受取配当金	△126	△188
支払利息	1	0
為替差損益(△は益)	△889	709
持分法による投資損益(△は益)	△85	△71
売上債権の増減額(△は増加)	△1,893	△1,009
棚卸資産の増減額(△は増加)	△24	△49
仕入債務の増減額(△は減少)	545	1,056
賞与引当金の増減額(△は減少)	△213	△210
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	△11
固定資産除売却損益(△は益)	1	△79
その他の営業外損益(△は益)	△129	△19
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38	△81
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△56	△41
その他の流動負債の増減額(△は減少)	56	△254
有価証券償還損益(△は益)	1	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	32
小計	3,593	4,829
利息及び配当金の受取額	126	188
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△1,691	△1,687
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,026	3,330

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△201	△907
有形固定資産の売却による収入	-	99
有価証券の取得による支出	△15,000	△1,988
投資有価証券の取得による支出	△320	△6,034
投資有価証券の償還による収入	151	157
無形固定資産の取得による支出	△0	-
定期預金の預入による支出	△510	△510
定期預金の払戻による収入	510	510
長期貸付けによる支出	△0	△0
保険積立金の積立による支出	△26	△10
保険積立金の解約による収入	20	10
その他	4	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,373	△8,690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△3	△1
配当金の支払額	△990	△1,132
非支配株主への配当金の支払額	△6	△6
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,001	△1,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,021	△512
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,326	△7,013
現金及び現金同等物の期首残高	45,877	35,549
現金及び現金同等物の中間期末残高	32,551	28,535

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	1,764	3	1,767
非イオン界面活性剤	12,285	262	12,548
陽・両性イオン界面活性剤	412	6	418
高分子・無機製品等	5,383	1,042	6,425
顧客との契約から生じる収益	19,846	1,314	21,160
外部顧客への売上高	19,846	1,314	21,160
セグメント間の内部売上高 又は振替高	193	15	208
計	20,039	1,329	21,369
セグメント利益	4,387	137	4,525

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,525
棚卸資産の調整額等	△1
中間連結損益計算書の営業利益	4,523

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	日本	アジア	
売上高			
陰イオン界面活性剤	1,940	3	1,943
非イオン界面活性剤	12,608	278	12,887
陽・両性イオン界面活性剤	395	3	399
高分子・無機製品等	6,006	1,051	7,058
顧客との契約から生じる収益	20,951	1,337	22,288
外部顧客への売上高	20,951	1,337	22,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	277	4	282
計	21,228	1,341	22,570
セグメント利益	4,948	157	5,105

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,105
棚卸資産の調整額等	△14
中間連結損益計算書の営業利益	5,090